

プール及び温泉施設の利用料金について



深澤 賢市 議員

質問…プール及び温泉施設の利用料金について、昨年度プール施設内でアンケート調査がなされたが、その結果を伺う。

答弁…大田原市屋内温水プールと黒羽中学校屋内温水プールについては、平成27年度から指定管理者制度により、管理運営を民間業者に委託しています。アンケート調査についてはその業者が実施しましたが、その概要

のみ答弁いたしますと、利用者の多くは市内在住の65歳以上の女性で健康維持が目的であります。利用状況は週2回程度が多く、利用料金は82%が安いと回答されました。

質問…市内外を問わず、65歳以上の高齢者の利用料金を一律料金にすべきと思うが伺いたい。

湯津上温泉やすらぎの湯は200円と定め、市外の高齢者は一般の使用料と同額で、黒羽温泉五峰の湯が500円、湯津上温泉やすらぎの湯が400円です。使用料金格差の解消については、指定管理者との委託金額や市内の民間日帰り温泉とのバランスを考慮し平成32年までの5年間については現行の利用料金を採用していきたいと思います。

一般質問



印南 典子 議員

本市の子ども・子育て世帯、高齢者支援について

質問…栃木県が子どもの貧困対策として、食事や学習面などを支援する子どもの居場所づくりを拡充する方向で検討に入ったと報じ、全国的に子ども食堂が増え続けております。子ども食堂は、もともとNPO法人や個人から始まった事業ですが、自治体の開設も相次いでおります。理由は、困窮家庭が抱える問題は食の問題に止まるだけでなく、

多くの問題が混在し、当事者とふれあう事で、問題の早期発見、解決が望めるからです。また、ひとり親家庭で孤食になりがちな子ども、一緒に食事がしたくても出来ない親子の悩みをサポートする意味でも、公設の子ども食堂の必要性を感じます。本市が公設の子ども食堂を開設する考えがあるか伺います。

答弁…実際に子ども食堂とか、そのようなものを必要とする子どもがどの位いるかという実態を実際にはまだ把握していない状況にありますので、その辺をよく調査した上でどのような取り組みが出来るか、調査研究をしていきたいと考えています。